

流星号

木更津工業高等専門学校
土木技術研究同好会

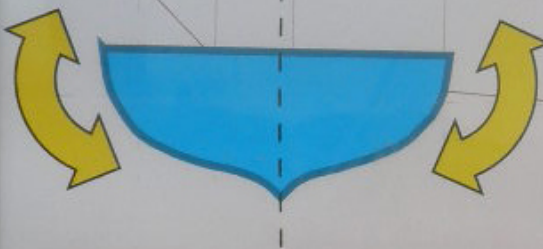
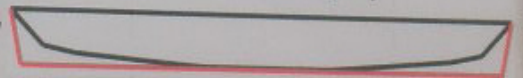
concept 安定性

昨年のカヌーはスピードに優れていた分、ロールに対する安定性が劣っていたため、今年は安定性を重視して製作することにした。

1. 復元力の向上

復元力とは、カヌーが左右に傾いた場合に元の状態に戻そうとする力のこと。昨年のカヌーよりも船幅を広くし、また重心を低くすることで、復元力の向上を目指した。

昨年 —
今年 —



2. 旋回性の向上

船首と船尾を結ぶ船底のライン（キールライン）を昨年のカヌーよりも反らせることによって軌道修正のし易さ、つまり旋回性の向上を目指した。

施工工程

竜骨作り



コンパネ材を使用して基礎となる竜骨を作成

型枠作り



船首と船尾は発泡スチロールから削りだすことによってより自由な成形が可能になった

ネット貼り



脱型を容易にするためにグリスを塗布した後、引張強度の向上を目指しネットを組み込む

打設



モルタルを型枠に塗りつける。またこの時、後輩が先輩から施工技術を継承する

塗装



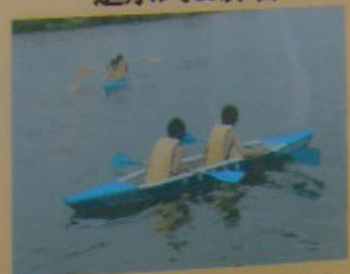
養生後、ベースとなる色を塗り、デザインや文字を描く

完成



大会規則に沿うように浮体、競技者が座る椅子を装着したところで完成

進水式&練習



昨年のカヌーとは特性が異なるため両者を比較しながら練習